

「TAGAT[®]」シリーズ(UHF帯金属対応小型RFタグ)の販売開始

日油株式会社 電材事業開発部

このたび当社は、世界最小クラスのUHF帯金属対応のRFタグ「TAGAT」シリーズを開発し、販売を開始いたしました。

この「TAGAT[®]」シリーズは、当社が高周波回路やアンテナ用の基板材料として開発した独自の低誘電損失樹脂の応用から生まれた高性能なパッシブ型RFタグで、低電波損失に由来する強い返信電波により、従来のインレットタイプ(PETフィルムに回路とICチップを貼り付けたRFタグ)と同程度の金属対応RFタグと比較して、大幅な小型化を実現しました。また、基板内部にICチップを埋め込んでいるため、落下などの外部からの衝撃に対する堅牢性や屋外使用時の耐久性にも優れています。

これにより、インレットタイプのRFタグでは対応が難しかった小型の金属製品・容器などへの取り付けや電波を吸収する人体・生体などへの利用も広がり、自動車や航空機業界などにおける金属部品や工具などの管理、サーバー、パソコンなどや小さな機材類のIT資産やレンタル分野での機材管理、病院、学校などでのセキュリティ管理や情報管理などで利用されることが期待されています。

販売に関しては、共同で開発を進めてきた丸紅ケミックス株式会社を総代理店として市場展開を図り、RFタグとして、2013年度に20億円の売上を目指します。

この「TAGAT[®]」シリーズに関し、RFIDの世界有数のコンファレンスである「RFID Journal LIVE! 2010」(RFID Journal主催、2010年4月14日～16日、米国オーランド)へ出展し、治工具管理から工程管理まで幅広い用途で大きな反響を受けました。また、「第5回 RFIDソリューションEXPO」(リード エグジビション ジャパン主催、2010年5月12日～14日、東京ビッグサイト)への出展を予定しています。

<参考資料>

「TAGAT[®] 81」は、9mm角のフットプリント(投影面積)を持ち、金属対応のUHF帯のRFタグとしては、従来にない超小型であるにもかかわらず、通信距離1mの性能と堅牢性を有しています。小型の金属製品、工具やパソコンなどに取り付けることもでき、場所を選びません。

「TAGAT[®] 525」は、35×15mm、「TAGAT[®] 750」は、49×15mmで、それぞれ2m、3mの通信距離を有しています。各種金属製品、部品や金属コンテナ、ドラム缶、ガスボンベなどの容器、人体への直接貼り付けの用途などに適した耐候性の小型RFタグです。

「TAGAT[®] 1089G」は、全世界の電波帯をカバー(グローバル対応)でき1.5～3mの通信距離性能を有し、グローバル対応のRFタグとしては最小クラスです。国際物流管理や航空機に搭載する部品・機材の管理に適しています(航空機搭載のための国際規格SEA AS5678に適合)。

いずれも、EPC Gen2(RFタグの国際規格、プロトコル)に準拠しており、「TAGAT[®] 1089G」を除き、日米欧の電波帯にそれぞれ対応した製品を取り揃えています。

なお、搭載するICチップ、ユーザーメモリー、外装などは、顧客の要望に対応できる体制を整えています。

「TAGAT」は、日油株式会社の日本国における登録商標です。

以上